

# 胃内視鏡検査の同意書

(以下の口にし点を記入してください。)

- 胃内視鏡検査の内容・偶発症について、裏面の説明を読み十分理解し、札幌健診センターで胃内視鏡検査を受けることに同意いたします。
- 抗血栓薬を服用していません。
- 局所麻酔（キシロカイン）アレルギーはありません。
- 脳動脈瘤、大動脈瘤（胸部・腹部）、大動脈解離の診断を受けたことはありません。
- 安全に健診を受けるため、下記のいずれかに当てはまる場合は、胃内視鏡検査を中止することに同意いたします。  
(収縮期血圧180mmHg以上、拡張期血圧110mmHg以上、体重135kg以上  
心拍131回/分以上、37回/分以下)

本日受けるのは（ご希望方法を選択してください。）

- 経鼻内視鏡検査です。  
なお、経鼻内視鏡検査ができなかった場合は、  
(以下から選択してください。)
  - 経口内視鏡検査に変更します。
  - バリウム検査に変更します。（麻酔が切れてからの検査になります）
  - 胃の検査を中止します。
- 経口内視鏡検査です。  
なお、経口内視鏡検査ができなかった場合は、  
(以下から選択してください。)
  - バリウム検査に変更します。（麻酔が切れてからの検査になります）
  - 胃の検査を中止します。

記入日 20          年          月          日

氏名 \_\_\_\_\_

健診センター記入欄 受診番号

## 胃内視鏡検査についてのご説明

### 【検査の目的】

食道・胃・十二指腸の異常の有無を調べるのが目的です。

当センターでは、内視鏡を鼻から挿入する方法（経鼻内視鏡）と、口から挿入する方法（経口内視鏡）の2種類を行っております。麻酔は局所麻酔のみで、意識のある状態での検査となります。

### 【経鼻内視鏡の特徴】

口から挿入する場合と比べ、嘔吐反射が少なく楽に検査できるのが特徴です。また、検査中も会話ができます。まれに鼻腔が狭いことで内視鏡が挿入できない場合もあります。その場合は、経口内視鏡やバリウム検査に変更するか、胃の検査自体を中止するかを選択していただきます。

### 【前処置】

**経鼻内視鏡の場合** 両方の鼻腔内を拡張する薬をスプレーします。胃の中をきれいにするシロップを飲んだ後、両方の鼻腔に局所麻酔の薬を注入し、通りのよい方の鼻腔に局所麻酔のゼリーを塗ったスティックを挿入します。スティックはカメラとほぼ同じ太さです。

**経口内視鏡の場合** 胃の中をきれいにするシロップを飲んだ後、喉のあたりに局所麻酔の薬を注入します。飲み込まずに5分間溜めていただいた後、更に局所麻酔の薬をスプレーで追加します。

### 【偶発症】

**前処置によるもの** 局所麻酔アレルギーによるショック、呼吸困難、血圧低下など  
内視鏡学会によるとその頻度は0.0059%（約17000 件に1件）となっています。

**検査によるもの** 消化管穿孔や裂傷、出血  
経口内視鏡の場合で頻度は0.012%（約8300 件に1 件）となっています。

**経鼻内視鏡特有のもの** 鼻の痛みや鼻出血  
ほとんどが軽度のものですが、止血困難な場合は他の医療機関での処置が必要になります。

### 【偶発症の対応について】

上記偶発症については可能な限りの対応をさせていただきますが、当センターは健診施設であり、病院やクリニックではないため、症状によっては他の医療機関へ受診をお願いすることがございます。

偶発症に関わる医療費は、保険診療にて実施し、一部負担金やその他の費用はお客様のご負担となる場合がございますので、ご了承ください。

### 【重要】 以下に該当する方は胃内視鏡検査の実施を控えさせていただきます。

- ① 抗血栓薬（血液が固まるのを予防する薬、血液をサラサラにする薬）を内服中の場合
- ② 病状により明らかな出血傾向がある、またはその疑いがある場合  
→出血が起きた際に止血処置が必要となる場合があります。
- ③ 動脈瘤の診断を受けたことがある場合  
→怒責による破裂等のリスクがあります。

上記の方は、主治医にご相談の上、止血処置が行える医療機関での検査をお勧めいたします。

なお、検査を受けるために薬を休むことは、病状が悪化する恐れがあるため、お勧めできません。ご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

当日の健診結果によっては、胃内視鏡検査を中止させていただきます。

裏面が同意書になっております。ご記入の上、受付窓口へご提出ください。